

貴重な標本や資料が焼失！ - 西日本防災システム

2010 05 18

サンパウロ市西部にあるブタンタン研究所で15日朝、火災が発生し、120年間かけて集められた標本や資料が焼失したようです。

保守作業のため14日夜から遮断されていた電気を、15日朝7時頃通電した直後に火災が発生したようです。標本保存に使うアルコールなどの可燃材料が置かれていた事もあって、消防車到着までのわずかな時間に火は燃え広がったようです。

消火作業はかなり難航し、同日夜7時頃になって鎮火が確認されたようです。火は、1970年代建造の1,000㎡の建物のほぼ全館を焼き尽くしました。

蛇の研究では世界でも最大級のブタンタン研究所には、数百種、8万5千点の蛇の標本があった他、45万点ともいわれるクモやサソリの標本などもすべて焼失したようです。標本以外の文書なども含め、焼失した資料の価値は計り知れません。大切な資財を焼き尽くした火災原因は現在調査中とのことです。

同研究所には火災予防や初期消火を行うための設備は何もなく、公的資金を投入しての保存努力の欠如が、今回の被害をより大きくしたと嘆く研究者達も多く居るようです。火災などで焼失すれば復元が出来ない資料の数々が、無防備のまま保管されている研究所や資料館が多いことも有識者の不安を掻き立てているそうです。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

